

復興金融ネットワークメンバーによる復興に関する取組事例

資料2-3

団体名	気仙沼信用金庫
取組名称	港町文化の活性化に取り組む創業先への支援
取組概要	【背景と経緯】 気仙沼市は遠洋漁業の基地として生産者、魚問屋、水産加工業者、さらには入港漁船を支える造船・鉄工、仕込み業者等水産関連産業を中心に発展してきた。震災後、多くの漁船員の入港時の楽しみとして親しまれてきた銭湯の廃業を機に、港町文化の良さが失われることへの危機感と、地域経済の持続的な発展を目的に設立した一般社団法人歓迎プロデュースの創業を支援。同団体で運営する銭湯・定食屋を核に、他の創業者と連携し、水産加工場で働く外国人のためのインドネシア料理店や礼拝所等、6店舗、1施設からなるトレーラーハウス屋台村「みしおね横丁」を展開。 【具体的な取組内容】 ・当金庫が運営する相談ブースにおいて専門家を活用し、同法人の設立を支援。 ・月毎の入港船や船員数の調査など、開業に向けてのマーケティングを行い、より具体性のある事業計画を作成。 ・参画事業者の事業立ち上げに係る事業計画書の作成や補助金申請を伴奏支援。 ・創業支援融資制度や利子補給制度の活用その他、復興庁クラウドファンディングの提案など円滑な資金調達支援。
取組成果	・各種補助金、助成金に採択。 ・参画事業者の資金ニーズに対する融資の実行。 ・各種イベント開催を通じた観光客、地域住民との交流機会の創出。 ・漁船員や観光客が魅力を情報発信することによる関係人口の増加が期待される。
その他	
URL等	https://www.facebook.com/kesennuma.mishioneyokocho

